

PROSPEC

デジタルビデオエディター

DVE783

取扱説明書



DIGITAL VIDEO EDITOR
DVE783

- このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

<http://www.prospec.co.jp>

目次

目次	1
梱包内容 / 仕様	2
使用上の注意	3
各部名称	4

基本編

電源を入れる	5
電源を切る	6

応用編

明るさを調整する	7
色あいを調整する	8
特殊再生をおこなう	9
映像信号と連動して電源をON/OFFする	10
映像を最適な明るさにする	11
ワイド識別信号をコントロールする	12
カラーバーを出力する	13
工場出荷時の状態(初期値)に戻す	14

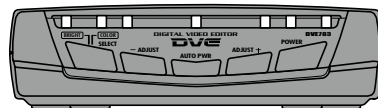
接続編

接続の前に	15 ~ 16
接続のしかた S端子ケーブル(別売)を使用して接続する	17 ~ 18
接続のしかた 専用接続ケーブル(同梱品)を使用して接続する	19 ~ 20
プレイステーション2/3との接続	21 ~ 22
ハイブリッドレコーダーとの接続 S端子ケーブルを使用する場合	23 ~ 24
ハイブリッドレコーダーとの接続 専用接続ケーブル(同梱品)を使用する場合	25 ~ 26
ビデオ入力端子のあるパソコンとの接続	27 ~ 28

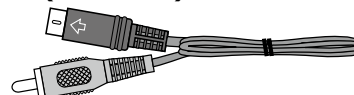
故障かな?と思ったら-使用中のトラブルと回避方法-	29 ~ 30
Q&A	30

梱包内容

■ DVE783本体 ×1



■ 専用接続ケーブル (DVE002) ×2



■ 音声分配アダプター ×2

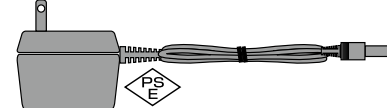


※映像分配用としては使用できません。

■ 取扱説明書(本書)

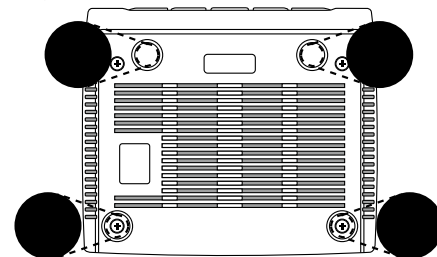
■ ユーザー登録保証カード

■ ACアダプター ×1



■ 滑り止めシール

下図のようにDVE783本体底面に貼り付けてください。



仕様

本体仕様

- 消費電力：3W以下
- 定格入力電圧：DC6V
- 電源端子：ACアダプター用ジャック
- 映像信号：NTSC(525i)
- 映像入力：S端子×1(金メッキ)*
- 映像出力：S端子×2(金メッキ)*

- ボディーカラー：シルバー
- スイッチ部：クロームメッキ
- 重量：150g
- 本体材質：ABS樹脂
- 本体寸法：W118mm×D98.4mm×H32.8mm

*セパレート信号/コンポジット信号対応

ACアダプター仕様

- 入力：AC100V 50/60Hz
- 出力：DC6V 800mA
- プラグ：センターマイナス + - (C) -

使用上の注意

安全のため必ずお守りください

表示の意味は次の通りです。

禁止	禁止を表します
注意	守らないと傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性があります
重要	使用する上で重要な事項を示します

禁止 ●他人の著作物を無断で編集・録画することは禁止されております。著作権者に無断で編集・録画をおこなった場合、著作権を侵害することになりますので十分ご留意ください。また、本製品を使用して編集・録画された映像、またはその複製物に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本製品は日本国内専用です。絶対に日本国外では使用しないでください。日本国外に持ち出された時点で保証対象外となります。また、サポートも一切致しません。

●本製品底面に貼付されている封印シールを剥がさないでください。剥がすと保証期間に関わらず保証対象外となります。

注意 ●必ず付属のACアダプターを使用してください。付属以外のACアダプターを使用すると、本体故障や性能悪化の原因となります。また、本製品はAC100V以外では絶対に使用しないでください。

●本製品は精密機器です。強い衝撃を与えたり、高温・多湿・ホコリの多い場所・風通しの悪い場所・直射日光の当たる場所に置かないでください。また、消臭剤や殺虫剤などのスプレーや液体類を吹きかけないようにご注意ください。故障や火災・感電・内部ショートの原因となります。

重要 ●本製品で映像を合成することはできません。また、本製品に録画機能はありません。

●ダビングされたソフト・海賊版ソフト・すでにノイズが含まれたソフトなどを編集素材に使用した場合、映像を安定させる機能が明るさ調整機能などが正常に働かない場合があります。

●本製品を使用したダビング時にごく稀に映像が乱れる場合があります。このような場合は再生機器と録画機器を入れ替えてみてください。

●VHSでの3倍録画やDVD・HDDでの低レート録画によって劣化した映像を本製品で補正することはできません。

●本製品で成人用ビデオなどのモザイク処理を除去することはできません。

●本製品で不正視聴防止用スクランブル信号を除去することはできません。

●本製品の画質補正能力を超えたビデオソースを編集すると、画質が低下する場合がありますのであらかじめご了承ください。

●本製品は家庭用に設計されています。長時間の使用や高精度な画質補正を要する業務用には適しません。

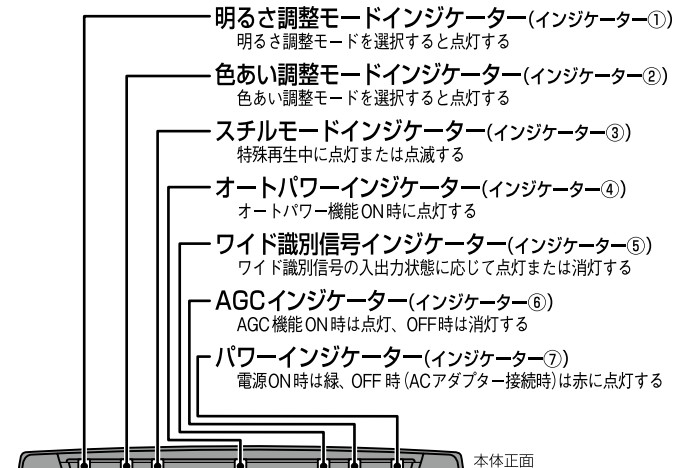
●水平解像度は映像の帯域を示します。解像度の低い映像はそのままの解像度で出力されます。

●本体が多少熱を持つ場合がありますが故障ではありません。

●本製品はNTSC (525i) 規格のビデオ信号に対応しています。

●検査・修理をご依頼の際は、必ず必要事項が全て記入された保証書を添えてお送りください。保証書が無い場合、検査・修理・その他の費用は全て有料となります。

各部名称



セレクトスイッチ(スイッチ①)

明るさ調整モードと色あい調整モードを切り替える

−アジャストスイッチ(スイッチ②)

各種調整値をマイナス方向へ調整する

オートパワースイッチ(スイッチ③)

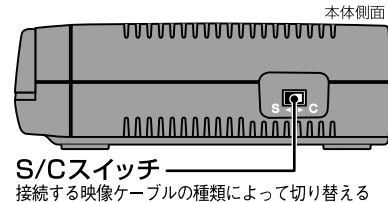
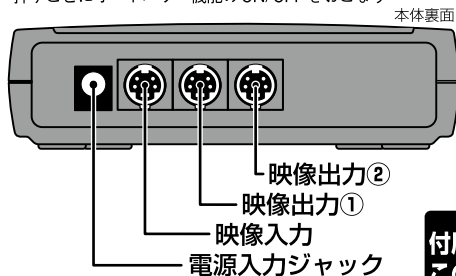
押すごとにオートパワー機能のON/OFFをおこなう

POWERスイッチ(スイッチ⑤)

電源のON/OFFをおこなう

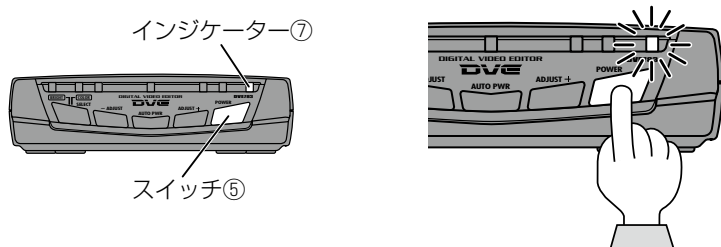
+アジャストスイッチ(スイッチ④)

各種調整値をプラス方向へ調整する



付属の専用接続ケーブルを使用する場合はこのスイッチを「C」側に設定してください。S端子ケーブルを使用する場合は「S」側に設定してください。(工場出荷時は「C」側)

電源を入れる



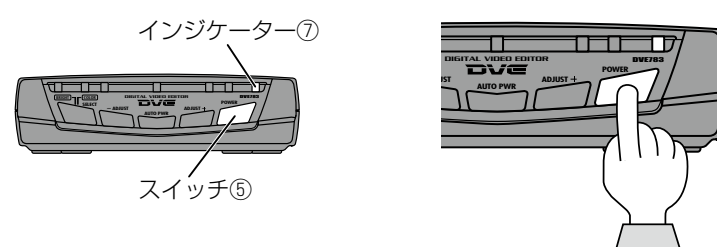
1 スイッチ⑤を押す。

2 インジケータ⑦が赤から緑に変わり、電源が入る。

！ワンポイント

- ・ACアダプターは事前に接続してください。
- ・電源を入れると自動的に編集モードになります。
- ・電源を入れた状態でACアダプターを外したり停電が起こったりすると電源が切れますが、再び本体が通電すれば自動的に電源が入ります(パワーガード機能)。

電源を切る



1 スイッチ⑤を押す。

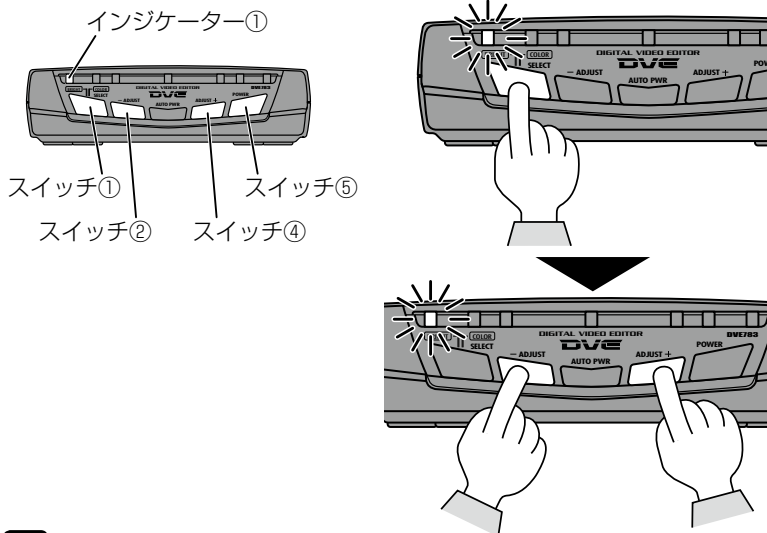
2 インジケータ⑦が緑から赤に変わり、電源が切れる。

！ワンポイント

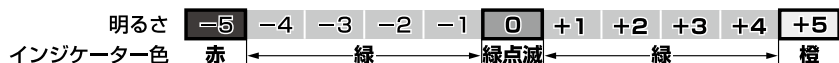
- ・ACアダプターを接続した状態で電源を切ると、入力した映像を編集せずにそのまま出力します。ACアダプターを外すと、映像を入力しても映像を出力することはできません。
- ・電源OFF、ACアダプターを接続した状態は、インジケータ⑦が赤く点灯します。

明るさを調整する

明るさ調整モード



- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ①を押してインジケータ①を点灯させる。
- 3 スイッチ②を押すと暗方向(最大5段階)、スイッチ④を押すと明方向(最大5段階)に明るさが変化する。

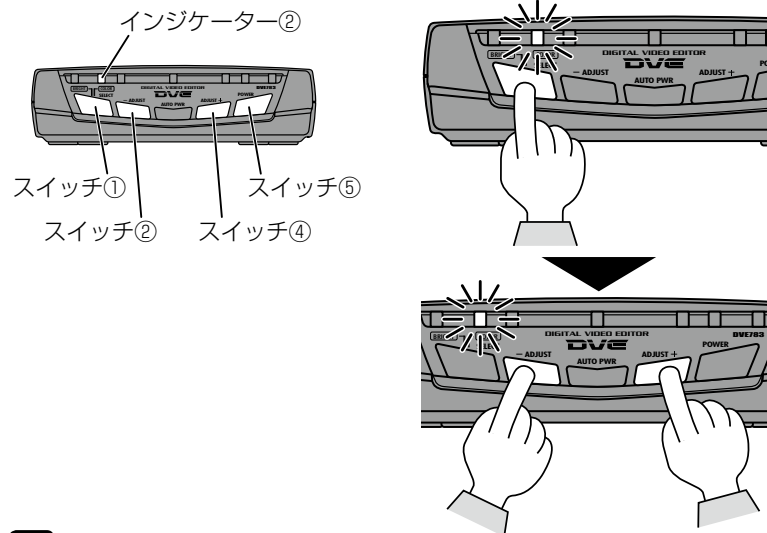


ワンポイント

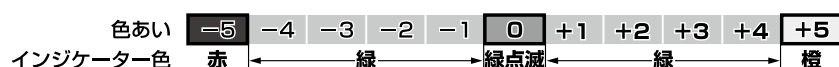
- ・明方向最大時、インジケータ①が橙に変わります。
- ・暗方向最大時、インジケータ①が赤に変わります。
- ・調整中に0(調整していない状態)になると、インジケータ①が2回点滅します。(明るさ調整モードに切り替えた際も設定値が0の場合は点滅します)
- ・設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

色あいを調整する

色あい調整モード



- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ①を押してインジケータ②を点灯させる。
- 3 スイッチ②を押すと赤方向(最大5段階)、スイッチ④を押すと緑方向(最大5段階)に色あいが変化する。

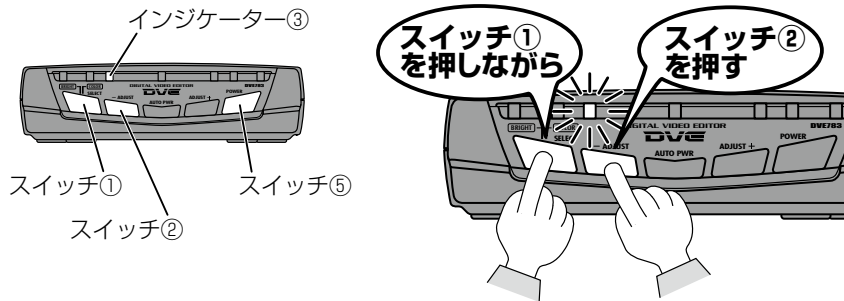


ワンポイント

- ・緑方向最大時、インジケータ②が橙に変わります。
- ・赤方向最大時、インジケータ②が赤に変わります。
- ・調整中に0(調整していない状態)になると、インジケータ②が2回点滅します。(色あい調整モードに切り替えた際も設定値が0の場合は点滅します)
- ・設定値は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

特殊再生をおこなう (映像の一時停止・0.5秒間隔コマ送り・1秒間隔コマ送り)

特殊再生機能



- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ①を押しながらスイッチ②を押すごとにインジケータ③が点灯/点滅し、特殊再生の状態を表示する。



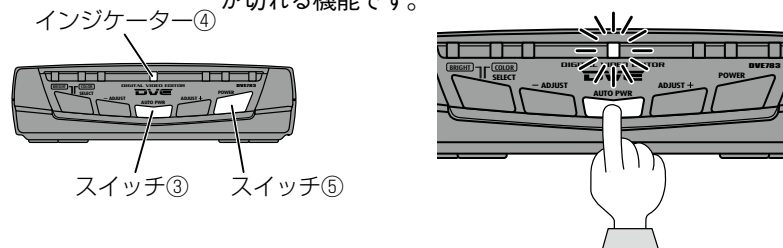
！ワンポイント

- ・一時停止中またはコマ送り再生中に他のスイッチを操作すると、スチルモードは解除されます。
- ・一時停止中またはコマ送り再生中に電源を切ると、スチルモードは解除されます。

映像信号と連動して電源をON/OFFする

オートパワー機能

※オートパワー機能…あらかじめ本機の電源を切っておき、映像が入力されると自動的に電源が入り、映像の入力がなくなると自動的に電源が切れる機能です。

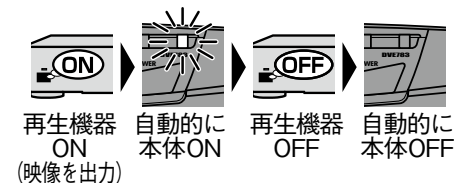


- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ③を押すごとにインジケータ④が点灯・消灯を繰り返す。
- 3 インジケータ④が点灯するとオートパワー機能がONになり、消灯するとオートパワー機能がOFFになる。

オートパワー機能 使用時の準備



オートパワー機能の動作



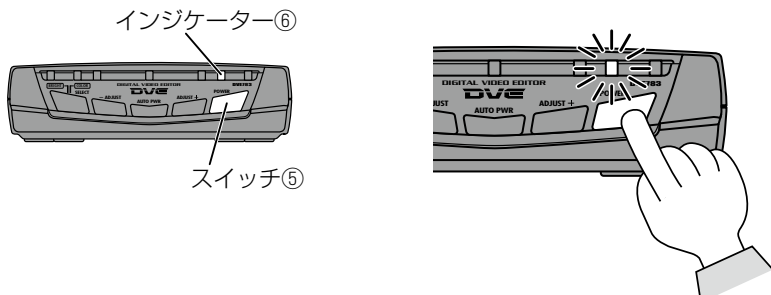
！ワンポイント

- ・ACアダプターは接続しておいてください。
- ・オートパワー機能をONにすると、電源を切ってもインジケータ④が点灯したままになります。
- ・映像が入力されてから本機の動作が開始されるまでに約2秒かかります。
- ・オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力したままスイッチ⑤を押しても電源は切れません(オートパワー機能が働いているため)。
- ・設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

映像を最適な明るさにする

AGC機能

※ **AGC機能**…入力された映像信号の輝度を最適値に自動調整して出力する機能です。



- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ⑤を3秒以上押し続けるごとにインジケータ⑥が点灯・消灯を繰り返す。
- 3 インジケータ⑥が点灯するとAGC機能がONになり、消灯するとAGC機能がOFFになる。

！ワンポイント

- この機能は基本的にVHSテープに保存された映像やアナログテレビ放送などのアナログ映像に対して有効です。DVDソフトや地上デジタル放送などのデジタル映像に対してこの機能を使用しても、ほとんど変化がありません。
- 明るさ調整機能と併用しても問題ありません。
- 設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

ワイド識別信号をコントロールする

ワイド識別信号コントロール機能



- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ⑤を押しながらスイッチ④を押すごとにインジケータ⑤が緑→橙→赤→緑の順で切り替わる。

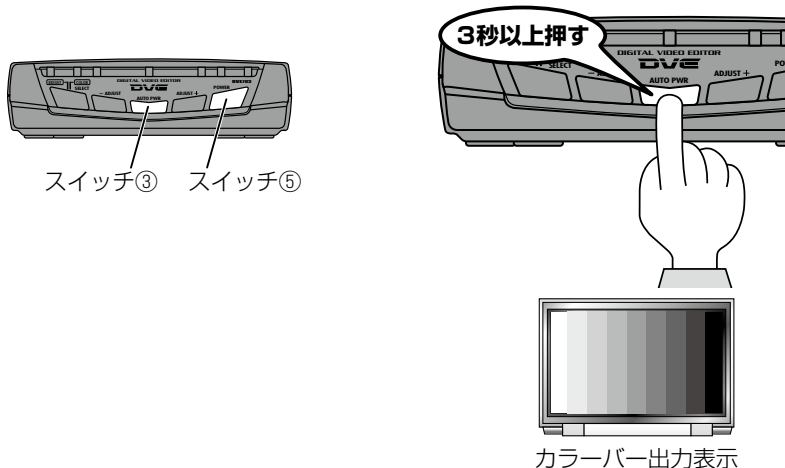
緑…オート出力	橙…強制出力	赤…強制削除
入力 出力 ワイド あり → あり 識別信号 なし → なし DVE	入力 出力 ワイド あり → あり 識別信号 なし → あり DVE	入力 出力 ワイド あり → なし 識別信号 なし → なし DVE

	オート出力時		強制出力時	
	出力	出力	出力	出力
入力	ID-1(スイッチ)	DVE002使用時	S端子ケーブル使用時	DVE002使用時
	ID-1(レターボックス)	ID-1(スイッチ)	S1&ID-1(スイッチ)	ID-1(スイッチ)
	S1	ID-1(レターボックス)	S2&ID-1(レターボックス)	S1&ID-1(スイッチ)
	S2		S1&ID-1(スイッチ)	S1&ID-1(スイッチ)
強制削除時	S1&ID-1(スイッチ)		S2&ID-1(レターボックス)	DVE002使用時
	S2&ID-1(レターボックス)		S2&ID-1(レターボックス)	S端子ケーブル使用時

！ワンポイント

- インジケータ⑤は、ワイド識別信号が入力されていないと点灯しません(強制出力設定時を除く)。
- 本機の電源を入れると、インジケータ⑤の色で設定状況を表示しますが、ワイド識別信号が入力されていないと2秒後に消灯します(強制出力設定時を除く)。
- ワイド識別信号が入力されていない状態で設定を変更すると、設定した色でインジケータ⑤が2秒間点灯します(強制出力設定時を除く)。
- 映像の縦横比率を変更して出力することはできません。
- 設定状態は電源を切ったりACアダプターを外しても記憶しています(メモリーガード機能)。

カラーバーを出力する

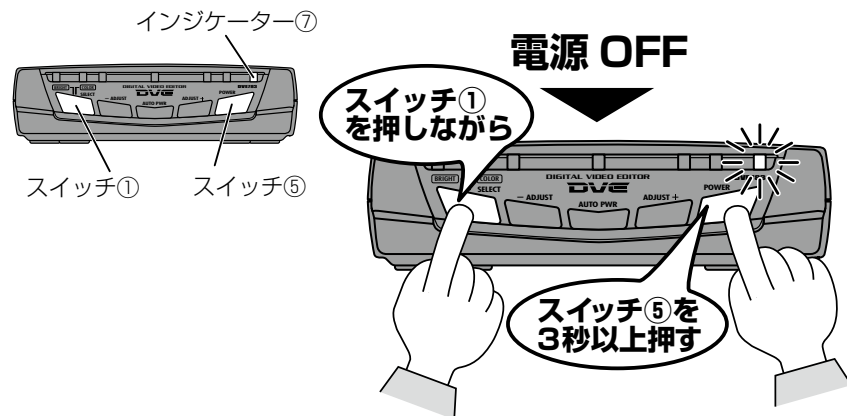


- 1 スイッチ⑤を押して電源を入れる(5ページ参照)。
- 2 スイッチ③を3秒以上押し続けると、カラーバー画像が出力される。
- 3 カラーバー画像出力中にスイッチ③を押すか、または電源を切るとカラーバー画像が出力されなくなる。

！ワンポイント

・本機のカラーバーを表示させながら、本機で明るさや色あいを調整しても画質の変化を確認することはできません。明るさや色あいを調整する際は本機のカラーバーを表示させないでください。

工場出荷時の状態(初期値)に戻す



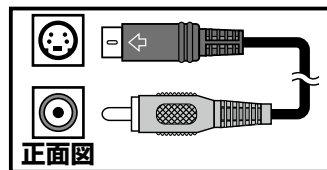
- 1 電源が入っていない状態で、スイッチ①を押しながら**3秒以上**スイッチ⑤を押し続ける*。
- 2 インジケータ⑦が緑色に点灯して電源が入ると共に各種設定値がリセットされる。

※この3秒間はインジケータ⑦が赤色で高速点滅します。この高速点滅中に操作を中止するとリセットされません。

接続の前に

●接続に使用する端子の種類

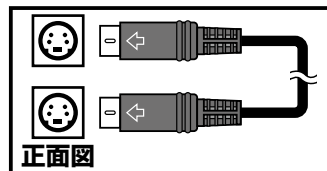
本製品と再生機器/録画機器を接続するために必要な端子例です。



専用接続ケーブル[DVE002] 映像用(2本同梱)

映像接続用のケーブルです。ピン端子を使用して接続する場合に使用します(2本同梱されています)。DVE002を使用して2系統出力する場合は、別途お買い求めください。

※このケーブルはDVE783⇔AV機器間にも使用してください。他のAV機器間(再生機とAVセレクター間など)に接続すると、映像が白黒になります。



S端子ケーブル[DVE001] 映像用(別売品)

映像接続用のケーブルです。ピン端子に比べ、より高画質な映像を楽しめます。(必要に応じて別途お買い求めください)

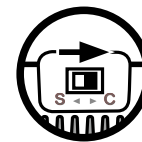
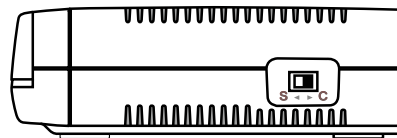
※市販品代用可

⚠️ ご注意

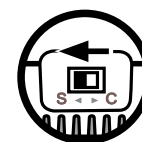
S端子ケーブルと専用接続ケーブル[DVE002]は同時に使用できませんので、必ず入力側と出力側の映像ケーブルはすべて同じ種類のものを使用してください。S端子ケーブルとDVE002を混合使用した場合、映像が白黒になります。

●スライドスイッチの設定

同梱されている専用接続ケーブルDVE002を使用する場合は、スライドスイッチを「C」に、S端子ケーブルを使用する場合は「S」に設定してください。工場出荷時は「C」側にセットされています。



専用接続ケーブル
DVE002を使用する場合



S端子ケーブルを
使用する場合

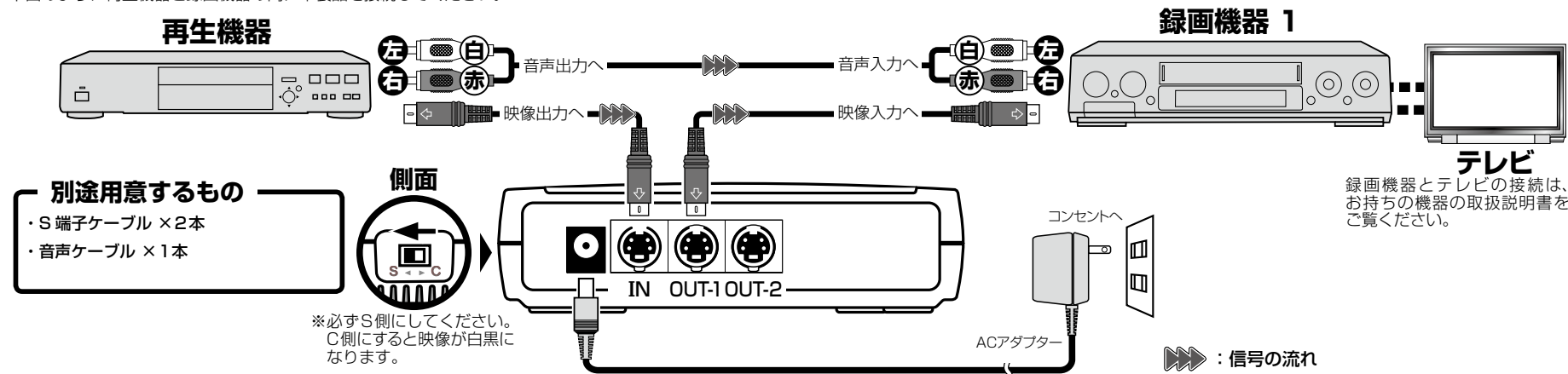
! ワンポイント

- S端子ケーブルとDVE002の混合使用はできません。混合使用すると白黒映像になったり予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。
- S端子ケーブルを使用する場合は本機のS/CスイッチをS側に、DVE002を使用する場合はS/CスイッチをC側に切り替えてください。S/Cスイッチが正しく設定されていないと、白黒映像になったり予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。

接続のしかた S端子ケーブル(別売)を使用して接続する

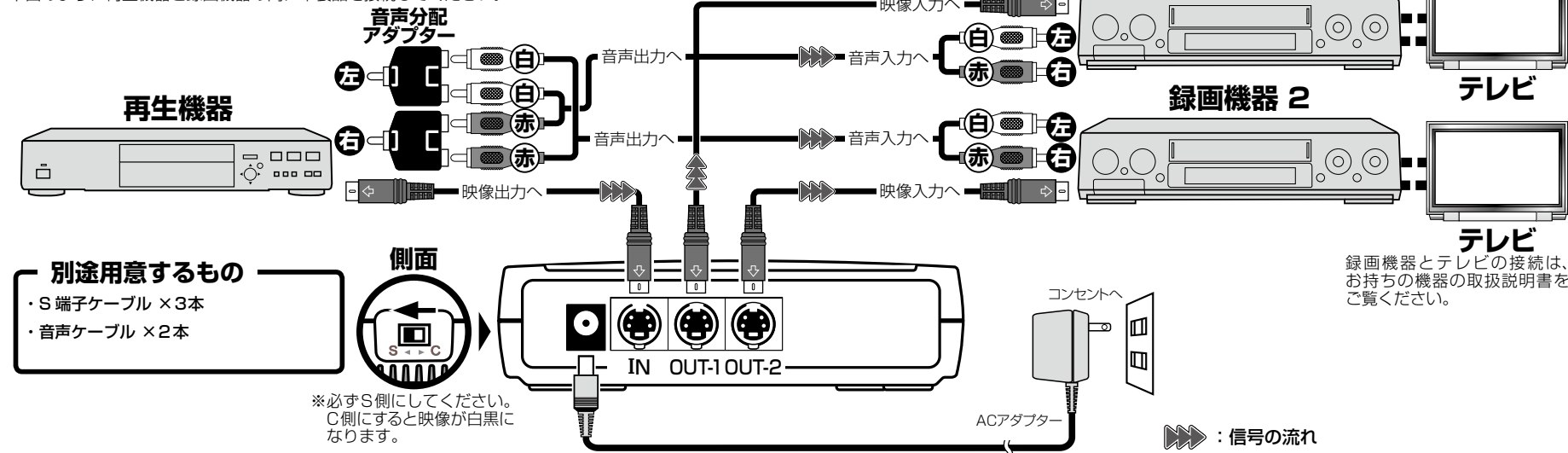
出力を1系統のみ使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



出力を2系統使用する場合

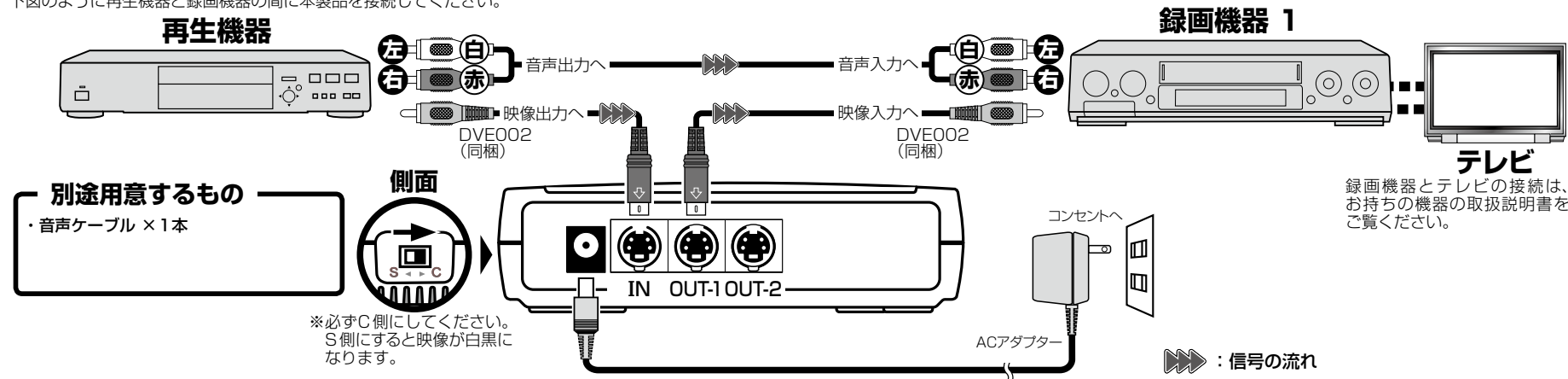
下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



接続のしかた 専用接続ケーブル(同梱品)を使用して接続する

出力を1系統のみ使用する場合

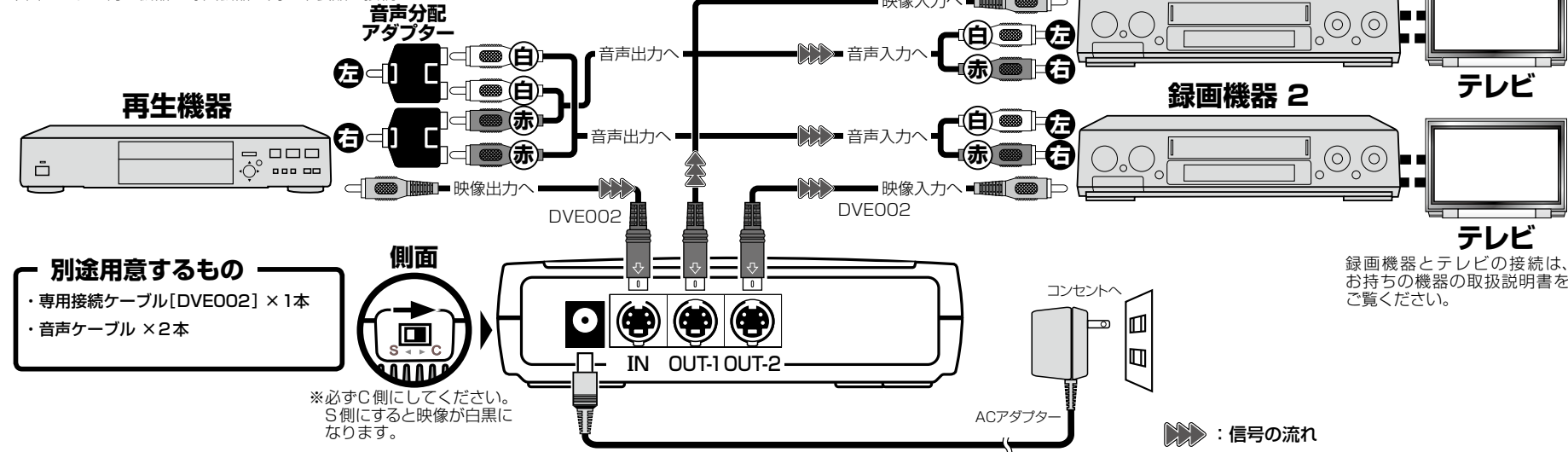
下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

出力を2系統使用する場合

下図のように再生機器と録画機器の間に本製品を接続してください。



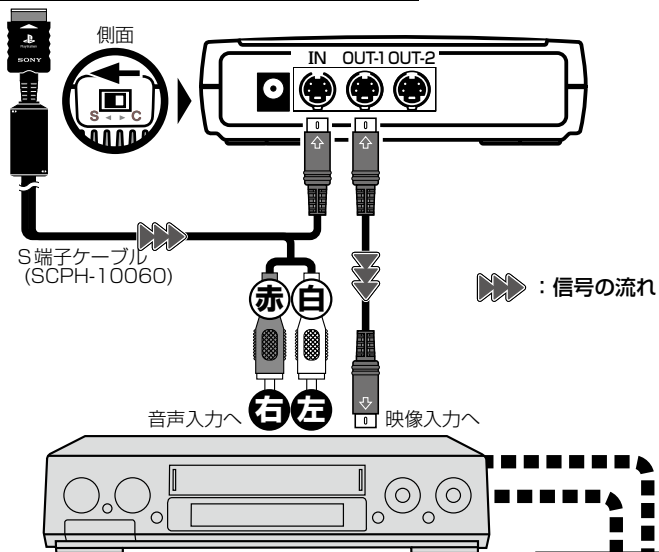
録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション2/3との接続

プレイステーション2/3を再生機器として使用できます。(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントより発売されているS端子ケーブル(SCPH-10060)を使用するとより高画質な映像を楽しめます。お近くのソニー製品販売店などでお買い求めください。

S端子ケーブル(SCPH-10060)を使用する場合

プレイステーション2/3本体



録画機器

別途用意するもの

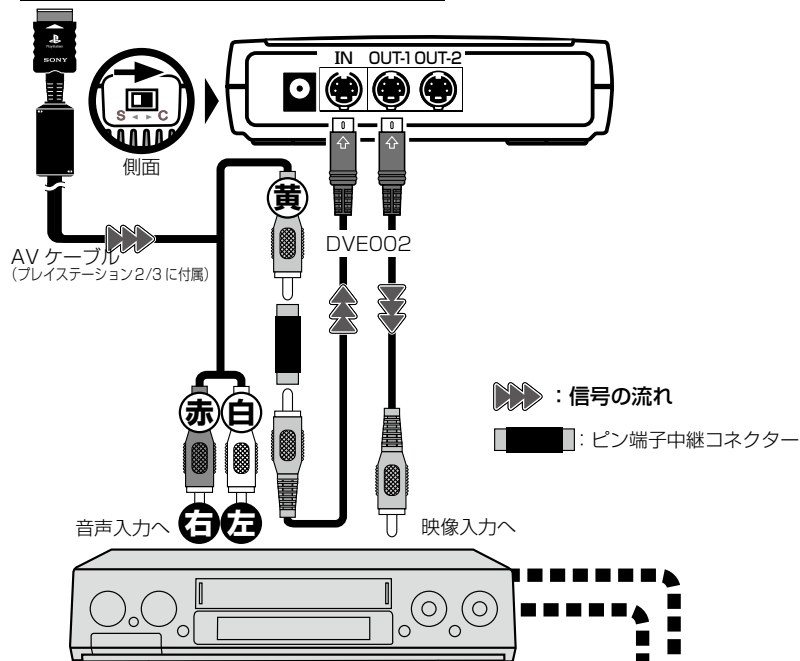
- ・ S端子ケーブル ×1本
- ・ SCPH-10060 ×1本

テレビ

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

プレイステーション2/3に付属のAVケーブルを使用する場合

プレイステーション2/3本体



録画機器

別途用意するもの

- ・ ピン端子中継コネクタ(市販品) ×1個

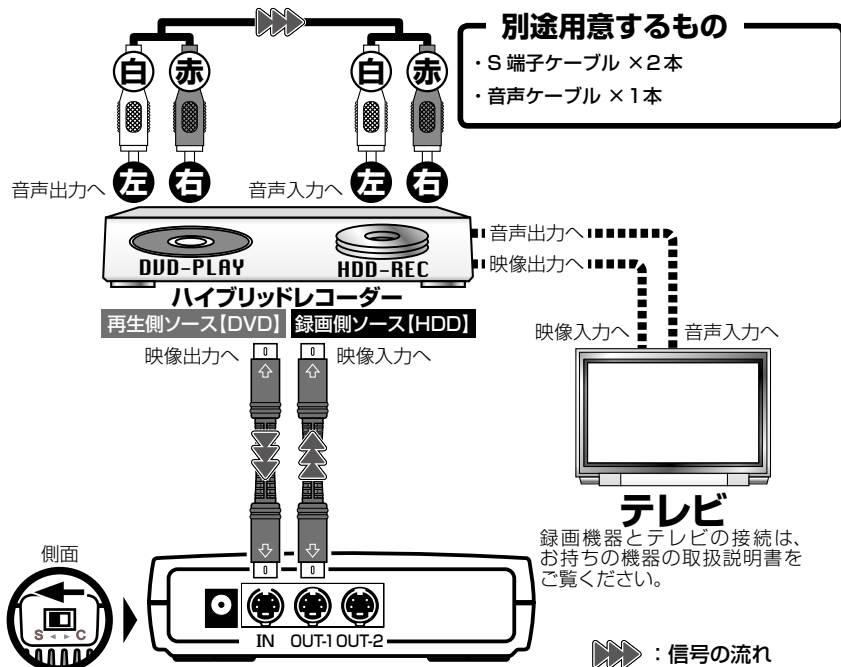
テレビ

録画機器とテレビの接続は、お持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

ハイブリッドレコーダーとの接続

HDD&DVD一体型機1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

レコーダーにAV出力が2系統以上装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

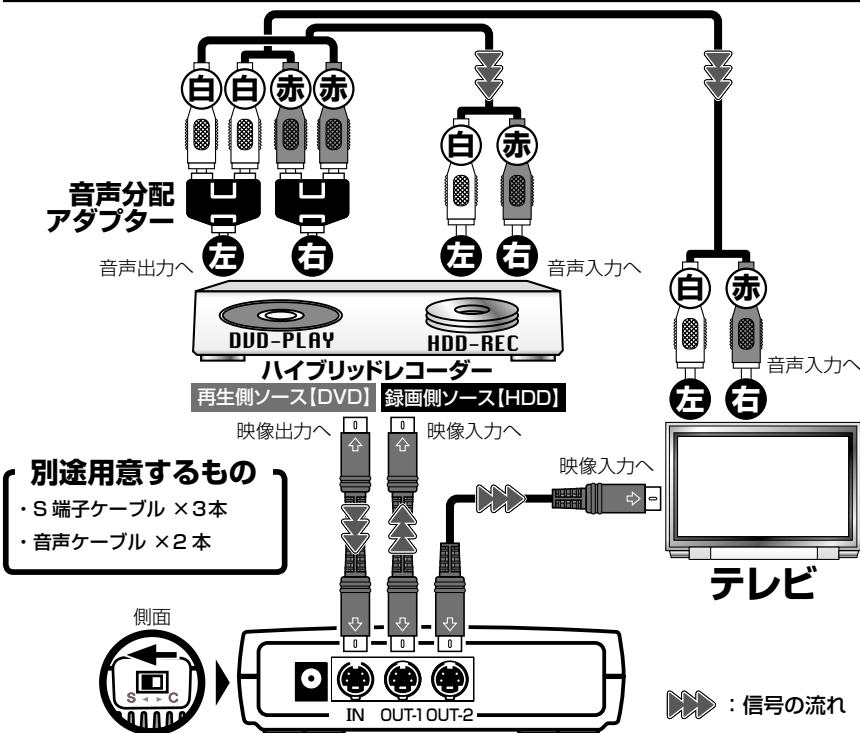
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

S端子ケーブルを使用する場合

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

レコーダーにAV出力が1系統のみ装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

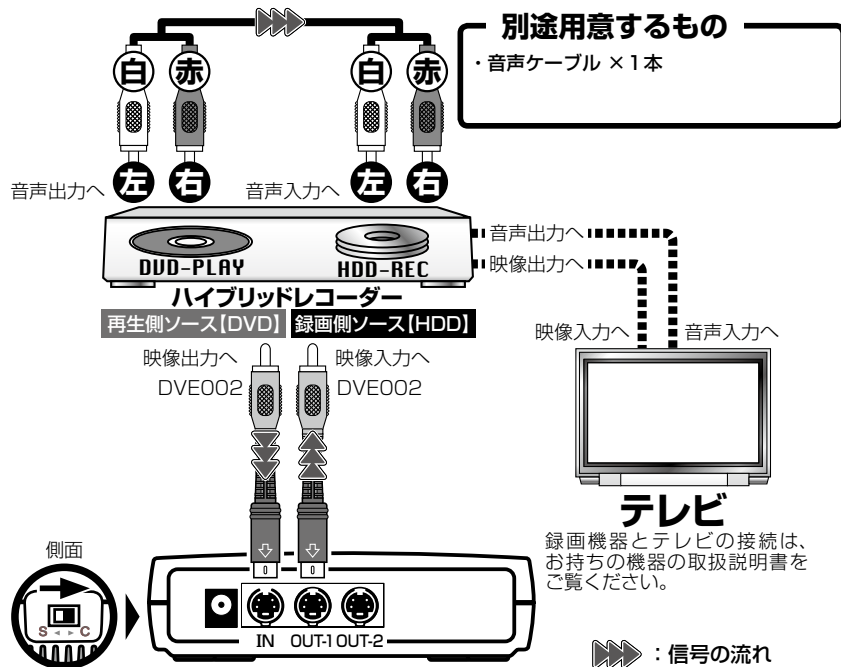
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

ハイブリッドレコーダーとの接続

HDD&DVD一体型機1台のみでDVDを再生して、HDDに一度記録してからDVD-R/RW/RAMなどに記録できます。

レコーダーにAV出力が2系統以上装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

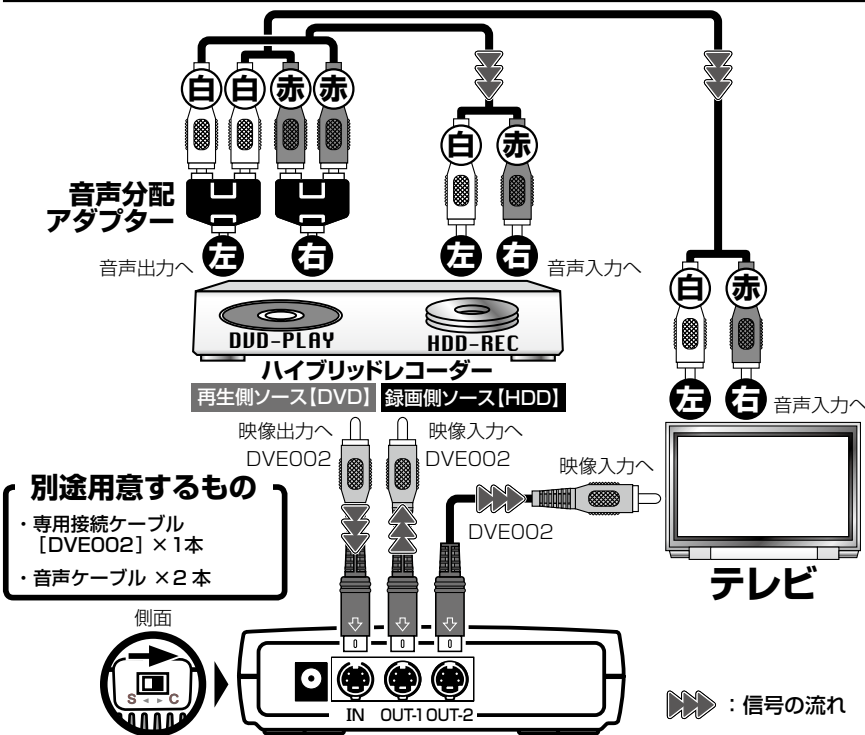
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・ハイブリッドレコーダーに接続しているテレビに映る映像はDVDの再生映像です。本製品の回路を通した映像ではありません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

専用接続ケーブル(同梱品)を使用する場合

※ハイブリッドレコーダー：ハードディスクとDVDなど録画メディアが複数ある機器

レコーダーにAV出力が1系統のみ装備されている場合



録画手順

- ① HDDに切り替え、チャンネルを外部入力(L1・L2など)に設定します。
- ② 編集したいDVDをセットして、HDD録画をスタートさせてから、DVDに切り替えてDVD再生をスタートさせます。

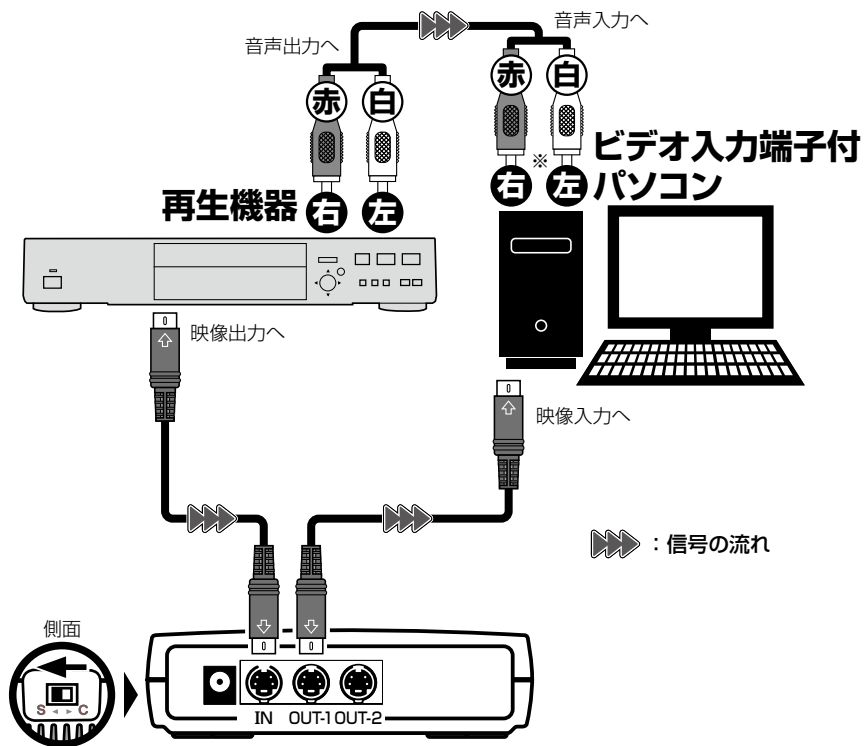
!ワンポイント!

- ・再生と録画を同時におこなえないハイブリッドレコーダーの場合、上記接続による使用はできません。
- ・外部出力及び外部入力の設定の切り替えは、ご使用のハイブリッドレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・「ワンタッチ録画」「クイック録画」「高速ダビング」「U-LINE ダビング」などは使用になれません。※ 外部入力による等倍速ダビングとなります。
- ・上記「録画手順」中に映像及び音声がハウリングにより乱れる場合がありますが、DVD再生をスタートした時点で治まります。

ビデオ入力端子のあるパソコンとの接続

ビデオ入力端子を装備しているパソコンをお持ちの場合、本製品で編集した映像 / 音声をパソコンに取り込むことができます。※ 別途編集用のソフトが必要となる場合があります。

S端子ケーブルを使用する場合

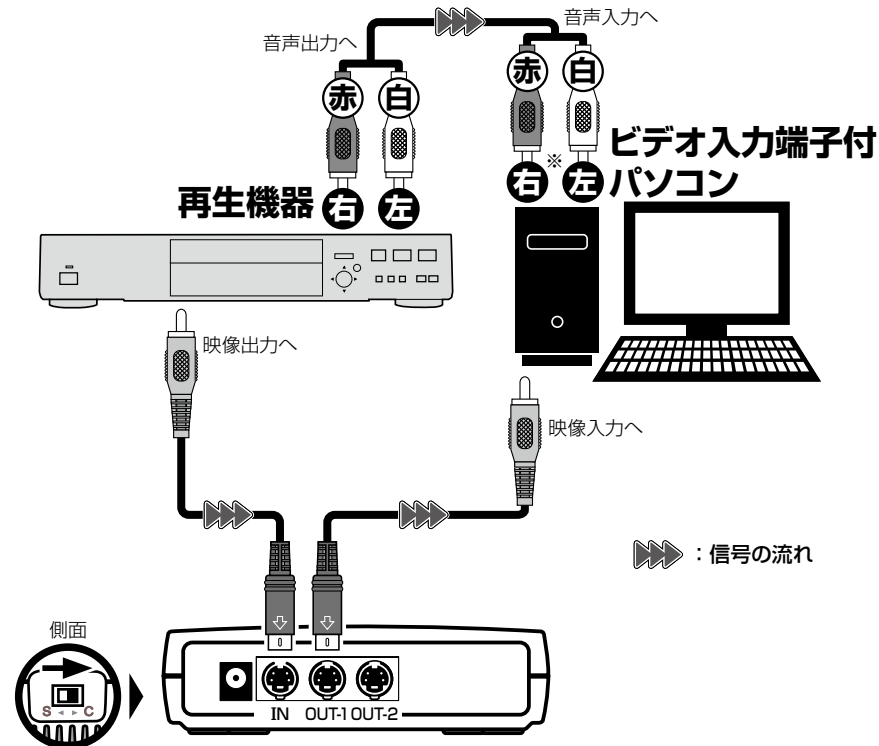


別途用意するもの

- ・ S端子ケーブル × 2本
- ・ 音声ケーブル × 1本[※]

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものとは異なる場合があります。

専用接続ケーブル (同梱品) を使用する場合



別途用意するもの

- ・ 音声ケーブル × 1本[※]

※パソコン側の入力ジャック形状により、ケーブルが図のものとは異なる場合があります。

故障かな?と思ったら-使用中のトラブルと回避方法-

故障かな?…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

●映像が白黒になる

- ・本体横のS/Cスイッチは正しくセットされていますか。映像ケーブル全てがS端子ケーブルの場合、必ずS/Cスイッチを「S側」にしてください。映像ケーブル全てが専用接続ケーブルDVE002の場合、必ずS/Cスイッチを「C側」にしてください。
- ・S端子ケーブルとDVE002を混合して使用すると、映像が白黒になります。必ず映像ケーブルは全て同じ種類のものを使用してください。

●再生機器の映像がテレビに映らない。黒またはブルー1色が表示される

- ・録画機の映像入力チャンネルは正しく設定されていますか？
- ・使用している映像ケーブルに断線、接続のゆるみはありませんか？
- ・再生機器からの映像信号が録画機器に伝わっていません。接続を再度ご確認ください。
- ・一部のデッキでは、入力した映像が「セパレート信号(S端子ケーブル使用時)」か「コンポジット信号(ピン端子ケーブル使用時)」かを手動で切り替える必要がある場合があります。その場合はデッキの取扱説明書を確認して正しくセットしてください。

●ワイド映像(16:9)が縦長(4:3)に映る

- ・録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、記録メディアや記録方式によってはワイド識別信号に対応しない場合があります。録画機器の取扱説明書をご参照ください。

●映像に波がでる

- ・付属品以外のACアダプターを使用すると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ・1つのケーブルタップに他の機器と合わせて接続すると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
- ・一部の接続機器(チューナーなど)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

- ・再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
- ・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

- ・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生(特殊効果)をおこなうと、乱れた映像が出力される

- ・アナログソース側で一時停止やコマ送り再生などの特殊効果を加えたものを、本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。

●DVD-RWには直接録画できるが、DVD-Rには直接録画ができない

- ・HDD内蔵DVDレコーダーの仕様によっては、特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。そのような場合は、一旦HDDに録画してからHDD→DVD-Rへ録画してください。なお、これは本機を使用したことによる症状ではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

●ビデオキャプチャー使用時、または16:9映像をレターボックス表示したとき、画面下の映像が消える

- ・画面下の映像は処理上カットしていますので故障ではありません。なお、カットされている部分は通常のテレビモニターでは表示されません。

Q&A

Q 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには？

A 本機のオートパワー機能を設定(10ページ参照)するか、または本機の電源を入れたままにしておきます。再生側から映像が入力されると同時に映像を出力します。

Q レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は？

A レンタルビデオは再生する頻度が高くテープ自体が劣化(傷んでいる)可能性がありますので、経年劣化したテープと同様、本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。

Q 同梱されているDVE002以外の映像ケーブルは使用できますか？

A S端子ケーブルが使用できます。なお、S端子ケーブルを使用する場合は本機のS/CスイッチをS側に、DVE002を使用する場合はS/CスイッチをC側に切り替えてください。

Q レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、DVEを通して同じレコーダー内のHDDまたはDVDに録画することは可能ですか？

A レコーダーの仕様上できません。レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、直接同レコーダー内に録画してから編集することは可能です。

Q 本製品に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？

A 各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。



PROSPECC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社 (月～金曜日 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:30 土日祝祭日を除く)

〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1509

※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL <http://www.prospec.co.jp/>

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

DVE783-0706-YUM-TL10200